



鮎を放流する保育園児（浅見川中流）

産業厚生
出 産育児一時金を4万円増額
国民健康保険条例の改正

平成21年10月から平成23年3月までの暫定措置として、産育児一時金の支給額が現在の38万円から4万円増額されて42万円になり

ます。これは、国の少子化対策の一環としての法律改正に合わせて町条例を改正するものです。

委員会

委員会の活動状況

- 総務文教常任委員会
- 産業厚生常任委員会
- 部分林の対応に関する調査特別委員会

本事業は、県営事業としての採択を受け、福島県相双建設事務所を窓口として推進されますが、まずは町内より20人から30人の委員を公募して、中央のコンサルタントの指導を受けながら、ワークショップ形式でテーマを決めていきたいとのことでした。

委員会としては、第

産業厚生 県 事業で環境保全

浅見川流域地区「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」

3次町勢振興計画に掲げているにもかかわらず、遅々として進まなかった事業が県事業として実施されることを評価するとともに、自然環境の保全をはかりつつ水に親しめるような事業とすること、また、委員についてもかたよらず、幅広く人選するよう要望しました。



特別委員

結

論は次回以降に持ち越し
部分林の対応

前回の委員会で執行部から広野町公有林野管理条例および広野町公有地貸付ならびに部分林設定規則、処分方法案について説明を受けていることから、各委員の考え方をそれぞれ述べていただきました。

部分林組合等が求め

ている町による部分林の買い上げには多くの財源を要することや、関係するのは一部の町民のみであることなど、現段階において大多数の町民に納得していただけのような意見の集約にはいたらず、引き続き調査していくことになりました。



鈴木紀昭副議長を委員長とする部分林特別委員会

報告

を報告します。

平成21年5月14日 開催

平成21年5月15日 開催

平成21年5月13日 開催



総務文教
サ ポートファミリリー
国際人育成支援事業

広野町サッカー支援センターおよびサッカー場の整備については、すべての工事が完了し、JFAアカデミー福島との間で財産の貸付契約が結ばれました。また、アカデミー生への支援については、

サポートファミリリーにご協力いただき、20年度は計5回、延べ25家族で54人のホームステイを実施したところですが、登録されている家族だけでは年々受け入れが難しくなってきたとのことでした。

委員会としては、「町民に対してサポートファミリリーの目的とその必要性を周知すること」「サポートファミリリーへの補助およびホームステイの日時を見直すこと」「近隣市町村へのサポートファミリリー募集・拡大について検討すること」「榎葉町のサポートファミリリーとの交換を行うこと」など、よりいっそう町民の理解を得てサポートファミリリーを拡大し、この事業を継続していくよう提言しました。



アカデミー4期生の田植え体験

総務文教

地

域住民が自主運営
広野町総合型地域スポーツクラブ設立

「総合型地域スポーツクラブ」とは、1つの中学校エリアの学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点に、地域住民が自主運営するスポーツ組織のことです。運営資金については、会費と各参加料を基本収入として運営するこ

とになりますが、地域に根ざした団体に成育するまでは行政の支援も受けられるそうです。今後はスポーツ振興くじ「toto」の支援を受けながら何種類かのプレ事業を展開し、今年度末の設立を目指しますが、委員会とし

ては、本町体育協会加盟部およびスポーツ少年団等への補助金との関連ならびに指導者等について意見するとともに、初の試みであることから、十分啓発に努めるよう要望しました。

◀農産物加工施設建設候補地の現地調査(二ツ沼総合公園)

産業厚生

缶

詰製造機を加えよ
農産物加工施設整備事業

農産物加工施設の建設候補地として3ヶ所提示されました。

が適地なのではないかという意見が多く出されました。

加工施設なので人目に付かない場所でもいいのではないかとという意見も出されましたが、前回の委員会で示された二ツ沼総合公園の直売所前の駐車場から、さらにとりなる駐車場

また、同施設内に設置する加工機器の中に缶詰製造機を加えるなど、米やタケノコ等、大量に生産される農産物の保存についても検討するよう要望しました。